

# みえ県議会 だより

NO. 166

平成30年  
(2018年)  
12月1日



発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町13

☎ 059 (224) 2877 ☎ 059 (229) 1931 ✉ gikaik@pref.mie.jp

🌐 <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

📱 <http://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)



▲議会ホームページ



▲スマホ版議会だより

## 平成30年三重県議会定例会 9月定例会議

### 平成29年度企業会計決算認定議案などについて議論

三重県建築基準条例の一部を改正する条例案などを審議し、可決したほか、平成29年度三重県水道事業決算などを認定しました。

#### 本号の主な内容

- 1面 本会議での審議結果  
代表質問
- 2～3面 一般質問、用語解説 ほか
- 4面 大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会、三重県議会議員勉強会、東海4県議会議長会議、インターンシップ実習生の受け入れ ほか

#### 本会議での審議結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況や請願・意見書の内容などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

#### 否決した議員提出議案

○三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案

#### 可決した議案

○三重県建築基準条例の一部を改正する条例案 ほか7件  
その他議案

○平成29年度三重県水道事業会計未処分利益剰余金の処分について ほか6件

#### 人事案件 (同意)

○公害審査委員の選任につき同意を得るについて

#### 認定した企業会計決算

○平成29年度三重県水道事業決算

○平成29年度三重県工業用水道事業決算

○平成29年度三重県電気事業決算

○平成29年度三重県病院事業決算

#### 採択した請願

○平成31年度税制改正における自動車関係諸税の見直しについて

○義務教育費国庫負担制度の充実を求めることについて

○教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めることについて

○子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めることについて

○防災対策の充実を求めることについて

#### 不採択とした請願

○2019年度に向けて30人学級とゆきとどいた教育を求めることについて

#### 可決した意見書

○地方財政の充実及び強化を求める意見書

○「ライドシェア」の導入について慎重な対応を求める意見書

○旅館業に係る諸課題について所要の措置を講ずることを求める意見書

○平成31年度税制改正における自動車関係諸税の見直しを求める意見書

○義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書

○子どもたちの豊かな学びを保障するための教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を求める意見書

○子どもの貧困対策の推進と就学及び修学支援に関する制度の拡充を求める意見書

○学校における防災対策の充実を求める意見書

○南海トラフ巨大地震のリスク管理について ほか

#### その他の質問事項

○RDF焼却・発電事業の総括について

#### その他の質問事項

○地方創生の取組の成果と課題について

○次世代の農業を担う人材育成について ほか

## 代表質問

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています。

#### コンプライアンスの推進取組について

三谷 哲央 議員  
新政みえ  
桑名市・桑名郡選出



**問** 今年度、不適切な事務処理案や職員の不祥事が続発している中、翌年度の三重県経営方針(案)では、全庁を挙げて「コンプライアンス」の推進に取り組むことを決意表明し、また、今年度には「コンプライアンス推進会議」を設置し、事業が繰り返し発生する原因分析などを行うとしています。これまでも県は、コンプライアンスの推進施策のため、さまざまな取り組みが行われてきた中で、年度ごとに実施してきた検証・分析の結果についてお聞きします。



**答** 平成25年度以降、職員の意識向上に継続的に取り組むとともに、組織として計画的に業務をチェックする仕組みの導入やハンドブックの作成・活用など、不適切な事務処理防止も進めてきました。このように一定の見直しも進めてきましたが、今年度の不適切な事案等を真摯に受け止めて、改めてゼロベースで見直すことが必要であり、内部の会議で原因を分析し、外部の有識者等による懇話会からの意見・提案をいただいた上で、改善策をまとめ、実施してまいります。

○**南海トラフ巨大地震のリスク管理**について ほか



▲代表質問 (三谷哲央 議員)

#### 持続可能な財政運営について

水谷 隆 議員  
自由民主党県議団  
いなべ市・員弁郡選出



**問** 本県の財政状況は、経常的支出の構造的な要因により極めて硬直化し、依然として深刻な状況にあります。県は「経常収支比率の改善」を目標の一つに掲げ、構造的見直しに取り組んでいるところですが、財政状況が厳しい中でも、県民の皆さんが将来に夢や希望を抱けるよう、必要な取り組みに果敢に予算措置をしていくためには、やはり経常的支出の抑制が大事だと考えます。そこで、持続可能な財政運営と夢のある予算編成の両立に向け、知事の思いをお聞きします。



**答** 経常的支出の規模の妥当性を評価する「経常収支適正度」の数値は着実に改善していますが、社会保障関係経費等の増加が見込まれる中、経常的収入のさらなる確保と経常的支出の抜本的な見直しを一層徹底してまいります。一方で、真に必要な投資は時期を逸することなく進めることが必要です。今後は、財政健全化に向けた取り組みを着実に進めるとともに、夢や希望につながる取り組みに対して的確に対応できるように努めてまいります。



▲代表質問 (水谷 隆 議員)

# 一般質問

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています。

## 次期式年遷宮に向けて

中川 正美 議員  
自民党  
伊勢市選出



**問** 「日本人の心のふるさと」である伊勢神宮では、2033年に20年に一度の式年遷宮が行われます。2025年には、早くも諸行事が開始されますが、県は、式年遷宮に向けて、総力を挙げて盛り上げていただきたいと考えています。そこで、次期式年遷宮が行われる2033年頃の三重県の姿について、どのように思い描いているのか、知事の思いをお聞かせください。

**答** 2033年の御遷宮に向けて、国内外から多くの人に訪れていただけるよう、しっかりと取り組む必要があると考えています。本県の2030年頃の姿は、例えば、リニア中央新幹線や、計画が進む空飛ぶタクシー等による、利便性の向上などが考えられますが、これらの絵姿を実現する人材の育成・確保が最も重要であり、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。



○農林水産業の振興について ほか



▲一般質問 (中川正美 議員)

## 「スーパーメガリジョン構想検討会 中間とりまとめ」を受けて

長田 隆尚 議員  
能動  
亀山市選出



**問** リニア中央新幹線の開業で、三大都市圏が約1時間で結ばれることによるスーパー・メガリジョンの形成が期待されており、その効果を最大化し、波及させる必要性を踏まえ、国や地方公共団体等が共通ビジョンの構築を図る「スーパー・メガリジョン構想検討会」が設置されています。今年7月、検討会は「中間とりまとめ」を発表しましたが、知事はそのように受け止めているのかお聞かせします。



**答** 「中間とりまとめ」は、地方の主張を踏まえたものであり、国づくり、地域づくりを共に進めていく上での新たな一歩として期待しているところであります。本県としては、引き続き、検討会での意見交換や、提言等を行うとともに、国の施策を活用しながら、県内各地域の自立的かつ持続的な活性化を図っていききたいと考えています。

○大規模氾濫減災協議会の設置を受けて  
○防災情報の配信について ほか



▲一般質問 (長田隆尚 議員)

## 野外体験保育の取組について

東 豊 議員  
尾鷲市北牟婁郡選出



**問** 県の調査で、「野外体験保育」を高い頻度で実施している保育所では、園児に「自ら進んで何でもやる」などの様子が見られるとした回答が多い結果となりました。この結果などを踏まえ、県では、指定したモデル園へのアドバイザー派遣や野外体験保育を普及する取り組み、今年度からは指導者等の人材育成講座を開設しています。取り組みについての考えをお聞かせください。

**答** 子どもの「生き抜いていく力」を育むために、「野外体験保育」の普及を進めており、幼児の自己肯定感を育むために有効と考えています。今後はアドバイザーを派遣した保育所等で公開保育や事例発表等を行い、野外体験保育に取り組み保育所等を広めてまいります。



○外国人労働者の現状と課題と対策  
○紀北町と大台町を結ぶ林道「野又越線」の見通しについて ほか



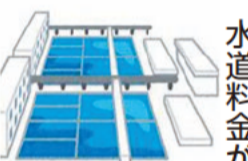
▲一般質問 (東 豊 議員)

## 水道料金の引き下げについて

岡野 恵美 議員  
日本共産党  
津市選出



**問** 長良川水系から受水している津市では、長良川河口堰の多額の建設費や川までの距離があることもあり、水道料金が高くなっています。来年度は県営水道料金の改定に向けた議論が予定されていることから、現在、津市などから受水費の引き下げを求める要望が出されています。県は、水道の基本料金と使用料金を引き下げるべきと考えますが、いかがですか。



**答** 県では支払利息の低減や設備等の長寿命化等により、これまでも水道料金の抑制に努めてきたところです。また、安全で安心な水道水の安定供給のため、施設の強靱化等を進めていく必要があります。今後、施設整備の資金需要に、可能な限り内部留保資金を充当し、企業債の発行を抑え、支払利息の低減を図るなど、中長期的な水道料金の抑制に努めていきたいと考えています。

○財政硬直化からどのような抜け出すのか  
○生活保護世帯のエアコン設置について ほか



▲一般質問 (岡野恵美 議員)

## 北海道の名付け親 松浦武四郎の今後の活用について

中瀬古 初美 議員  
新政みえ  
松阪市選出



**問** 松浦武四郎の企画展が「三重県総合博物館 Mie Mu」で始まり、国の重要文化財等が多く展示され、圧巻の内容となっておりますが、北海道では、三重県の皆さんより武四郎をよく知っているとお聞きしました。そこで、今回、Mie Muでの企画展開催の意義や偉人を顕彰し、しっかりと位置付けていくことについて、お伺いします。

**答** 松浦武四郎の生き方を多くの方に知っていただき、特に子どもたちに行動力やチャレンジ精神、ダイバーシティの考えなども学んでほしいと思います。偉人の顕彰は、郷土への誇りや愛着を深め、アイデンティティの再認識にもつながります。本県では、今後、市町や県内の博物館等とも連携し、偉人に係る調査・研究を進め、成果を発信するなど、顕彰に取り組んでいきます。



松浦武四郎

○SNSを活用した相談体制子どもLINE相談みえの実施状況について  
○松阪市フルマラソンの開催協力について ほか



▲一般質問 (中瀬古初美 議員)

## みえ森と緑の県民税について

青木 謙順 議員  
自由民主党県議団  
津市選出



**問** 平成26年に「みえ森と緑の県民税」が導入されましたが、近年の災害の発生状況を見ても英断だと評価でき、また一定の成果も出ていると考えています。一方で、市町や団体等からは「もっと市町が使いやすい事業にすべき」といったさまざまな意見をいただいています。税導入からこれまでの成果の総括、そして見直しを踏まえた次期制度の方向性について知事にお聞きします。

**答** 県民税導入により「災害に強い森林づくり」等の取り組みが本格化しており、県民の安全・安心の確保には大変重要と考えています。近年の台風や豪雨災害を踏まえると、防災・減災対策の充実・強化が最優先課題であるため、一部見直しの上で、平成31年度以降も県民税を継続し、県民の皆さんと共に関わり合い取り組んでいきます。



災害後森林整備後

災害前森林整備前

○生活道路の整備について ほか



▲一般質問 (青木謙順 議員)

## 児童相談所と警察の情報共有について

小島 智子 議員  
新政みえ  
桑名市・桑名郡選出



**問** 警察は、虐待の疑いのある事案は児童相談所へ通告する必要がありますが、児童相談所から警察への情報提供は、各自の裁量となっており、重篤事案の発生などを受けて、現在、全ての情報共有を検討している自治体が増えています。そこで、三重県では、児童相談所と警察の情報共有について、どのように進めていくのかをお聞かせください。

**答** 昨年、子ども・家庭局、児童相談センター、警察本部で申合せ書を締結し、一時保護を解除した情報などを共有しています。また、児童相談センターが把握する情報で共有が必要なものは、警察でもオンラインで即時に閲覧できるよう年度内に整備する予定で、今後、関係機関との連携を深め、迅速かつ的確な支援につなげていきたいと考えています。



○主要農作物種子法の廃止にかかわって  
○障がいのある子どもたちの進路選択 ほか



▲一般質問 (小島智子 議員)

県の森林整備の進捗状況と森林環境譲与税(仮称)が果たす効果について

田中 祐治 議員  
自由民主党県議団  
松阪市選出



問

森林の多面的機能の維持には、林業の発展と林産物の安定的な需要と供給が望まれますが、外材の輸入や国産材価格の低迷などから、担い手不足が顕著となっております。山村の疲弊が深刻さを増す中、森林環境譲与税の自治体への財源交付には、今後の森林整備等の促進への期待が寄せられています。そこで、県の森林整備の進捗状況と森林環境譲与税が果たす効果についてお聞きします。



答

平成29年度末の間伐実施の実績は、三重の森林づくり基本計画における目標値を下回っており、さらなる森林整備の推進が必要で、森林環境譲与税の創設で、条件不利地の森林等の整備や林業経営体の規模拡大による経営の安定化のほか、木材の需要拡大、人材の育成・確保なども進むと期待しています。

その他の質問事項  
○再犯防止に向けた取組について  
○豪雨災害に備えた危機管理について  
てほか



▲一般質問 (田中祐治 議員)

貨物集配車両に対する駐車規制の緩和について

田中 智也 議員  
新政みえ  
四日市市選出



問

駐車スペースの不足は、宅配業者のドライバーが長時間労働になる一因とされています。宅配物数が年々増える中、特に駐車スペースの少ない都市部においては、駐車場の確保に困るため、荷下ろしのための駐車スペースの確保や駐車規制の緩和を求めている声が上がっています。そこで、県内の規制緩和に向けた今後の方針について県の考えをお聞きください。

答

道路上の無秩序な駐車は、交通事故の原因となるほか、交通渋滞を発生させるおそれもあり、交通の安全と円滑を確保するため、必要な区間で駐車規制を実施しています。県警察としては、県内の事業者団体からの要望を踏まえ、貨物集配中の車両の駐車需要が高い場所等では来年度から規制緩和を実施できるように検討を進めています。



その他の質問事項  
○県内における地震発生時の液状化について  
○もうかる水産業に向けて  
てほか



▲一般質問 (田中智也 議員)

新しい時代に向けて

中嶋 年規 議員  
自由民主党県議団  
志摩市選出



問

平成の時代に起こったあらゆることの中から、時代に応じて変えるべきもの、変えてはならないもの、いわゆる「**8** 不易流行」の観点から、まさに今、今後の県政を考える「歴史の転換点」にあると思います。そこで、三重県のさらなる発展と県民幸福度の一層の向上を図るうえで、新しい時代に何を残し、どのように変化していくべきか、知事の考えをお聞きください。



答

平成の次の時代に残すものとしては、特に、三重県の持つ力、つまり継承していくことが大事です。一方、県民の皆さんが一層豊かさを感じていただける変革の促進などが必要と考えています。今こそ、変えるものと変えないものの両方をしっかりと見つめていくことが大事だと思えます。

その他の質問事項  
○**9** 地籍調査の推進について  
○全ての子どもへの権利擁護を進めるにあたって  
てほか



▲一般質問 (中嶋年規 議員)

「地域包括ケアシステム」の深化・推進における地域住民の力に期待すること

杉本 熊野 議員  
新政みえ  
津市選出



問

「**10** 地域包括ケアシステム」での県の役割は、主に、医療・介護・保健など専門分野の充実ですが、それだけで独り暮らしの高齢者や高齢者夫婦の世帯、認知症の人がいる地域の暮らしは安心といえないと思います。もっと地域での生活支援、支え合いが大事です。そこで、県がもっと注目して関与し、支援すべきと思いますが、知事の考えをお聞きください。

答

県は、地域包括ケアシステムへの深化・推進に取り組んでおり、「高齢者が活躍する支え合いのまちづくり」を重要な柱としていきます。地域の皆さんととりわけ元気な高齢者の方々による自発的な支え合い活動には大いに期待しており、県としても、その支援にしっかりと取り組めます。



その他の質問事項  
○「部落差別の解消の推進に関する法律」施行後の取組について  
○子どもの最善の利益をめざす社会的養護の推進について  
てほか



▲一般質問 (杉本熊野 議員)

公文書管理条例の制定について

舟橋 裕幸 議員  
新政みえ  
津市選出



問

三重県公文書管理条例では、開示への対応と適切な管理を求めています。公文書の意義の根本となる歴史的事実の記録という部分が抜け落ちていきます。公文書を作成する職員には、この大原則を遵守する責任があります。公文書の意義や保存のあり方について高い意識で文書管理をしていくために、公文書管理条例を制定すべきと考えますが、知事の考えをお聞きします。



答

最近の不適切な事務処理の発生等を踏まえ、公文書の適正な管理を徹底し、県民の信頼を向上させることが重要であり、条例の制定は、職員の意識向上の契機となるなど大きな意義があると認識しています。また、歴史的公文書への関心の高まり等を受け、保存および利用ルールの明確化が必要だと考えています。これらを踏まえ、条例の制定に向けて検討を進めていきます。

その他の質問事項  
○**11** マイクロプラスチック対策について  
○少子高齢化・人口減少社会への対応について  
てほか



▲一般質問 (舟橋裕幸 議員)

用語解説

1 コンプライアンス

一般的に「法令遵守」と訳されますが、三重県庁においては「法令や社会規範、ルール、マナーを遵守することにも、公正・誠実に職務を遂行し、説明責任を果たすこと」によって、県民の皆さんの信頼に添えること」としています。

2 RDF

Reuse Derived Fuelの略で、ごみを選別、粉砕した後乾燥させ、圧力を加えて固めた暖房や発電の燃料のことです。

3 南海トラフ

静岡県と駿河湾から九州東沖までの海底で、約700kmにわたって続く水深4000m級の深い溝(トラフ)のことをいいます。この南海トラフを震源とする巨大地震の30年以内の発生確率が70〜80%以内を引き上げられたことから、三重県においても甚大な被害が生じると想定されています。

4 地方創生

東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることが目的とした政策のことです。

5 スーパーメガリージョン構想

リニア中央新幹線によって、東京・名古屋・大阪の三大都市圏がそれぞれの特色を發揮しつつ一体化することで、世界からヒト、モノ、カネ、情報を引き付け、世界を先導する大交流リニア都市圏を形成しようとする計画のことです。

6 みえ森と緑の県民税

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」の施策を進める財源として、平成26年度から三重県で導入された税金で、導入から5年ごとに評価・検証を行うこととしています。

7 森林環境譲与税

平成30年度税制改革大綱において創設が明記された「森林環境税(仮称)」を財源に国が市町および県に交付(配分)する税金のことで、平成31年度から間伐などを実施する市町やそれを支援する県に交付が開始されることとなっています。

8 不易流行

いつまでも変わらない本質的なものの中にも新しい変化を取り入れていくことで、松尾芭蕉の俳句の理念の一つです。

9 地籍調査

国土調査法に基づき、市町が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を確認し、境界位置と面積を測量する調査のことです。

10 地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスと切れ目なく提供する包括的な支援体制のことです。

11 マイクロプラスチック

海洋などの環境中に拡散した微小なプラスチック粒子のことで、生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。マイクロプラスチックには、海洋を漂流するプラスチックごみが紫外線や波浪によって微小な断片になったものなどがあります。

お知らせ

○今年度から、本会議の代表質問と予算決算常任委員会の総括質疑の中継画面(テレビ・インターネット両方の中継画面)に、手話通訳が付きましました。

○代表質問・一般質問の中に掲載しているQRコードをスマートフォン等で読みとっていただくと、それぞれの質問者の録画配信をご覧いただけます。

### 大規模な災害等緊急事態への 県議会の対応に関する検討会

近年、大規模な自然災害等が多発するなか、県民の皆さんの生命・財産を守るため、大規模な災害等緊急事態への県議会としての対応に関する規定を本年6月に三重県議会基本条例に整備しました。

県議会として既に大規模地震対応マニュアルを策定していますが、この条例改正を受け、議員10名で構成する「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」を設置し、本年7月から大規模な災害等緊急事態発生時における県議会としての対応について、実際に被災された県議会の取り組みを調査するなど検討を行っています。

### 議会経費削減に関する検討プロジェクト会議

議会経費の削減について検討を行うため、議会改革推進会議の下に議員10名で構成する「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」を設置し、本年9月から、まずは職員の旅費規定の改正に対応するための費用弁償の取り扱いについて検討を行っています。

### 平成30年度第1回三重県議会議員勉強会

10月15日に、全議員が参加する平成30年度第1回三重県議会「議員勉強会」を開催しました。今回は法政大学の廣瀬克哉副学長を講師にお招きし、「これからの議会改革に問われるもの」と題して講演いただきました。

廣瀬副学長は、地方自治や自治体議会等を専門に研究されており、これまでも三重県の議会改革の検証にもご協力いただいています。講演では、豊富な知識と卓越した識見で、議会改革の成果やこれからの改革のポイントなどについて貴重なお話をいただきました。

県議会では、県政を取り巻く諸課題等の中から、学習の機会を設け、さらに見識を深めていくことが必要と思われるテーマを選定した上で、専門的知識を有する外部有識者等を招いた議員勉強会を議会活動計画の取り組みの一つとして開催しています。



### 東海4県議会議長会議

10月22日に、三重県議会において、愛知県、静岡県、岐阜県および三重県の各県議会議長の副議長が参加した東海4県議会議長会議を開催しました。

会議では、「政策施策監視評価等の仕組みについて」や「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応について」の意見交換を行いました。



### 全国都道府県議会議長会(大阪府で開催)

11月1日、大阪府において、全国都道府県議会議長会第161回定例総会が開催されました。会議では、「地方税財源の充実確保に関する決議」や「東京電力福島第一原子力発電所事故対策に関する決議」など計3件の決議を決定するとともに、経済産業委員会や国土交通委員会など5つの委員会で取りまとめられた計35項目の「平成31年度政府予算編成に関する提言」について決定しました。

また、これら決定した決議や提言については、関係機関等に対して要望活動を行いました。



### 三重県議会インターンシップ実習生の受け入れ

県議会では、議会における監視機能の強化、政策立案の充実、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、平成21年度からインターンシップ実習生を受け入れていました。今年度は、9月11日から21日までの間に、京都大学大学院の学生を実習生として受け入れました。

実習では、県議会の取り組みの聴き取りや議員へのインタビューなどを通して、県議会や議員の役割等について学んでいただきました。また、実習の成果として、正副議長等に対して、三重県議会の地域防災・減災対策への関与のあり方について、提案していただきました。

実習生からは、今回の実習を通して、「議員インタビューなど貴重な体験を通して視野を広げることができた」などの感想をいただきました。



### 意見書を国に提出

9月定例会議において可決された「地方財政の充実及び強化を求める意見書」ほか7件の意見書を、10月18日に議長が国に対して提出し、要望の実現を働きかけました。

三重県議会では、意見書を衆議院議長および参議院議長のほか、内閣総理大臣および関係大臣に提出し、要望の実現を働きかける活動を行っています。



### 北海道議会へ義援金を贈呈

9月14日に開催した代表者会議において、北海道胆振東部地震により被害を受けた北海道議会に20万円の義援金を、議員の拠出により送付することと決定しました。

これを受けて、10月18日に全国都道府県議会議長会の委員会出席の機会をとらえ、前田剛志議長から、北海道議会の大谷亨議長に義援金をお渡ししました。



### 三重県議会定例会 主な開催実績

(会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。)

9月	14日 本会議 議提議案1件否決、議案15件 上程、認定議案4件上程 本会議 議案に関する質疑(2人)	17日 予算決算常任委員会 本会議 議案の審査
20日 本会議 議案に関する質疑(2人)	25日 本会議 一般質問(5人)	27日 本会議 一般質問(4人)
10月	1日 本会議 一般質問(4人)	2日 予算決算常任委員会 企業会計決算審査
4日~5日、9日~10日 各常任委員会・分科会 議案の審査、請願の審査、所管事項の調査 本会議 代表質問(2人)	15日 本会議	17日 予算決算常任委員会 本会議 議案の審査
24日~25日 予算決算常任委員会 当初予算編成に向けての基本的な考え方	30日 予算決算常任委員会 一般会計・特別会計決算認定 議案の審査(総括質疑)	31日 予算決算常任委員会各分科会 一般会計・特別会計決算審査 本会議

**○本会議**

- 受付時間 本会議開始30分前から
- 定員 180人
- 傍聴の方法 議事堂1階の傍聴者用エレベーターで、6階傍聴受付へお越しください。そこで傍聴券・資料などを受け取り、議場へお入りください。
- 委員会・議案聴取会・全員協議会・代表者会議等
- 受付時間 会議開始30分前から
- 定員 10人(会議開始10分前に定員を超えた場合は、抽選で決定します。)
- 傍聴の方法 議事堂正面玄関右側の1階受付で傍聴券を受け取り、各室の傍聴者入り口からお入りください。

※議会日程や議会に関する情報などは、県議会ホームページのほか、ご家庭のテレビのデータ放送でもご覧いただくことができます。

**三重県議会定例会 今後の日程(予定)**

三重県議会の会期は通年制となっています。平成30年12月から平成31年2月までの日程は次のとおりです。

12月	3日、5日 本会議(一般質問)
	6日~7日 予算決算常任委員会
	10日~13日 各常任委員会及び分科会
1月	17日 本会議(開会)
	18日 代表者会議、議会運営委員会
	19日 代表者会議、議会運営委員会
	20日 本会議(採決、閉会)
2月	7日 代表者会議
	12日 全員協議会
	14日 本会議(議案上程)
	15日 議案聴取会
	20日 本会議(代表質問、質疑)
	22日 本会議(一般質問)
	26日 本会議(追加議案上程)
	27日 本会議(追加工議案上程)
	28日 本会議(一般質問、質疑)

この日程は、平成30年11月5日現在の予定です。最新の情報は、ホームページでご確認ください。